

# ポルトガル月報

2023年5月

(本月報は月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

## 【主要ニュース】

【内政】★世界ポルトガル語の日の記念行事が開催

★レベロ・デ・ソウザ大統領、安楽死に関する法を公布

【外交】★サントス・シルヴァ共和国議会議長、ウクライナを訪問

★ストルテンベルグNATO事務総長がポルトガルを訪問

【経済】★欧州委員会、ポルトガルの経済成長率を上方修正

(上記主要ニュースには以下本文にて★が付されている)

## 内政

### ●ブラガにて閣議を開催

5月3日、4日、政府はブラガにて「政府をより身近に」と名付けられたイニシアティブを実施した。本イニシアティブは、ブラガ地域内で90を超えるプログラムから構成されており、産業地域の訪問、地元の代表者との交流、イノベーション、モビリティ分野のイベント等が行われた。4日にはブラガで閣議が開催され、会議後コスタ首相は、「ブラガは、ポルトガルの輸出の11%を占めており、ポルトガル経済の大きな原動力である」と述べ、政府がブラガ地区に対する支援を継続していく旨述べた。

### ★世界ポルトガル語の日の記念行事が開催

5月5日、世界ポルトガル語の日を記念して、世界各国のポルトガル大使館で、演劇、音楽、映画、詩のリサイタル、本の発売、作家との会話などの様々な祝賀行事が執り行われた。アントニオ・コスタ首相は自身のツイッターで「今日の世界ポルトガル語の日は、世界で4番目に話されている言語のための日だ。約2億6,000万人の話者がいるポルトガル語は、成長の止まることのない未来の言語である。ポルトガル語万歳！」と祝福の言葉を述べた。

### ★レベロ・デ・ソウザ大統領、安楽死に関する法を公布

5月16日、レベロ・デ・ソウザ大統領は安楽死に関する法を公布した。同法を巡っては、4月19日にレベロ・デ・ソウザ大統領が安法案に対して拒否権を行使し、法案を議会に差し戻しており、5月12日に再度議会で承認されていた。

### ●ゴメス・クラヴィーニョ外務大臣、「アフリカの日」祝賀行事に参加

5月24日、ゴメス・クラヴィーニョ外相はリスボンで行われた「アフリカの日」及びアフリカ連合設立60周年の祝賀行事に参加した。クラヴィーニョ外相は、当地ディアリオ・デ・ノティシアス紙のインタビューにて、「アフリカ連合は現在、世界の主要なプレーヤーであり、多国間主義の強力な支持者である」と述べ、ポルトガル・アフリカ連合及びEU・アフリカ連合の重要性を強調した。

### ●インテルカンパス社の世論調査結果 — 5月

5月7日、インテルカンパス社は政党支持に対する世論調査の結果を発表した。与党・社会党(P S)の支持率は21.2%(前月比4ポイント減)となった。最大野党・社会民主党(P S D)の支持率は21.1%(同3ポイント減)となり、P SとP S Dの支持率の差は0.1%となった。その他政党では、左翼連合(B E)、自

由党(Livre)の支持率は微増した。第3政党であるシェーガ党(CH)の支持率は12.1%(前月比1.1ポイント減)となった。その他、リベラル主導党(IL)、統一民主同盟(PCP)、人と動物と自然の党(PAN)の支持率は減少した。以上の結果を踏まえると、右派政党の合計支持率(41.6%)は、左派政党の支持率(36.5%)を大きく上回る。

同社による最新の政党別支持率は以下のとおり。

政党	12月	1月	2月	3月	4月	5月
PS	27.0	26.3	23.4	25.9	25.2	21.2
PSD	22.1	24.9	22.8	24.2	24.1	21.1
CH	9.6	9	11.6	13.5	13.2	12.1
IL	7.5	6.4	7.4	7.0	7.3	6.9
BE	7.5	6.3	4.8	6.7	7	7.9
CD*	3.8	3.1	3.9	3.2	4.3	3.5
PAN	3.1	3.1	2.4	1.5	2.3	2
CDS**	1.9	0.6	0.9	1.3	1.4	1.5
Livre	1.7	2.0	1.3	2.4	1.1	1.9

※ポルトガル共産党(PCP)・緑の党(PEV)の連合

※※現在無議席

## 外交

### ★サントス・シルヴァ共和国議会議長、ウクライナを訪問

5月2日、サントス・シルヴァ共和国議会議長は、ウクライナを訪問し、ゼレンスキー大統領、ステファンチューク最高会議議長及びシュミハリ首相等と会談した。ゼレンスキー大統領は、「ウクライナに対するポルトガルの継続した援助に感謝申し上げる。」とポルトガルがこれまでに提供した人道支援や、先月にウクライナに贈与された戦車などの例を挙げ、謝辞を示した。翌日、サントス・シルヴァ議長は、首都キーウの議会にて演説を行い、「ポルトガル国民の、ウクライナに対する強固な連帯を表明し、独立と領土保全という不可侵の権利を求めて闘うウクライナに対するポルトガルの全面的な支援を継続していく」と更なるポルトガルのウクライナに対する援助を約束し、二か国の連帯と協力を強調した。

さらに、サントス・シルヴァ議長はステファンチューク議長をリスボンに招待し、ステファンチューク議長はこの招待を受け入れた。

### ●ゴメス・クラヴィーニョ外相、アンゴラを訪問

5月2日、ゴメス・クラヴィーニョ外務大臣は、アンゴラを訪問し、テテ・アントニオ外務大臣に迎えられた。その後、第3回ポルトガル・アンゴラ政府間委員会に参加し、20を超える分野での協力可能性について議論した。6月に予定されているコスタ首相のアンゴラ訪問についても最終調整がなされた。

### ●コスタ首相、グスタボ・ペトロ/コロンビア大統領と会談

5月6日、アントニオ・コスタ首相は、リスボンでグスタボ・ペトロ/コロンビア大統領と会談した。両者は経済関係、特に再生可能エネルギーとグリーン化の分野での関係強化について協議した。そのほか、コロンビアの和平プロセスの支援、ポルトガル企業のコロンビア進出、麻薬問題などについても意見交換がなされ、コスタ首相は会談後、「人権への脅威、世界中の平和と持続可能で包括的な開発への脅威である麻薬ビジネスを止めるため、更なる議論が行われなければならない」と述べた。

### ●韓正中国国家副主席、ポルトガルを訪問

5月7日から10日、韓正中国国家副主席はポルトガルを訪問し、レベロ・デ・ソウザ大統領主催会食及び、アントニオ・コスタ首相との面談が行われた。また、韓正国家副主席は、ポルトガル送電会社(REN)及びMota-Egil社会長兼CEOとも面談した。コスタ首相は、自身のツイッターで、「我々は貿易関係におけるよいバランスを見つけることを念頭に置きながら、エネルギー転換、環境、農業食品等の分野での二国間関係の深化について議論した」と述べた。

### ●レベロ・デ・ソウザ大統領、欧州議会で演説

5月10日、レベロ・デ・ソウザ大統領は欧州議会に

て、現在EUが直面している課題についての演説を行った。レベロ・デ・ソウザ大統領はロシアによるウクライナ侵攻を、「衝撃的な過ち」であると表現し、EU内での団結をより強固なものとしなければならない旨を強調した。また、「公平で道徳的な平和を確保し、更なる戦争を防ぐことが急務である。また、EUは自分たちの中に閉じこもることはできない。利己的になり、更なる問題を引き起こすわけにはいかない。国家のエゴイズムは脇に置き、EUの価値観を加盟国全てが優先しなければならない」と述べた。レベロ・デ・ソウザ大統領はロベルタ・メツォラ欧州議会議長を6月にリスボンに招待し、メツォラ議長はこの招待を受け入れた。

### ●コスタ首相、リトアニア大統領と面会

5月11日、アントニオ・コスタ首相はリスボンで、ギタナス・ナウセダ/リトアニア大統領と会談した。会談では、7月にリトアニアの首都ヴィリニウスで開催されるNATO首脳会合について意見交換し、更なるNATO加盟国間及び二国間の協力強化についても協議した。加えて、両者はロシアとベラルーシに対する欧州の制裁を強化したうえで、世界の食糧安全保障への影響を最小限にする方法を確保するための議論も行った。

### ●モロッコ王国首相がポルトガルを訪問

5月12日、アズィーズ・アハヌーシュ/モロッコ王国首相は第14回ポルトガル・モロッコ/ハイレベル会合のためリスボンを訪問した。本会合は新型コロナウイルス感染症流行の影響で5年ぶりとなった。会合後、アントニオ・コスタ首相及びアハヌーシュ/モロッコ王国首相は、自然災害等の際の国民保護、女性の権利、司法分野での協力、社会経済などの分野に関する12の二か国間協定に署名をした。コスタ首相は、来年迎えるポルトガル・モロッコ友好平和条約250周年に言及し、更なる二国間関係の強化へ意欲を示した。

### ●コスタ首相、アイスランドを訪問

5月15日、アントニオ・コスタ首相はアイスランドを訪問し、カトリン・ヤコブスドッティル首相と会談し

た。今回の訪問は、ポルトガル首相による初めての公式訪問となる。両者は気候変動及び海洋保全の分野で意見交換が行った。コスタ首相は、「ポルトガルとアイスランドは、再生可能エネルギー分野において関係強化をしていく。特に地熱発電の分野で我々はアイスランドから学ぶ点が多くある」と述べた。訪問中、コスタ首相は、アナ・フォントウラ・ゴウヴェイア/エネルギー・気候担当副大臣と共に国内最大の地熱発電所を視察した。

### ●コスタ首相、欧州評議会首脳会合へ参加。

5月16日、アントニオ・コスタ首相は、アイスランドの首都レイキャビクで開催された欧州評議会首脳会合へ参加した。加盟国46か国の首脳は、主にロシアのウクライナ侵攻を非難する決議案について話し合った。コスタ首相は「平和と民主主義の価値観を守り、促進していかなければならない。それが欧州評議会の役割である。また、全ての欧州人が発信でき、国際法の重要性、領土保全の権利を確認するプラットフォームが今まで以上に必要である」と述べた。本首脳会合は2005年以来18年ぶりの開催となった。

### ★ストルテンベルグNATO事務総長がポルトガルを訪問

5月19日、イェンス・ストルテンベルグNATO事務総長が7月のNATO首脳会合に向けた準備のため、リスボンを訪問し、会談後アントニオ・コスタ首相と共同記者発表に臨んだ。コスタ首相は、「我々は、NATO首脳会合において、平和、自由、民主主義の価値を守るために、ロシアがこの戦争に勝利しないよう、同盟の結束を強化する。」と述べた。ストルテンベルグ事務総長は、ポルトガルのウクライナに対する支援に感謝したことに加え、「NATO加盟諸国は、欧州連合と協力して重要インフラのレジリエンスを高め、防衛に投資すべきだ。ポルトガルの防衛費増大のように、全ての加盟国が努力しなければならない」とNATO加盟国の更なる努力に期待する旨発言した。NATO首脳会議は、リトアニアの首都ヴィリニウスで7月11日、12日に行われる。

## 経済

### ●コスタ・シルヴァ経済・海洋大臣、アソーレスへの気象観測用新レーダー設置を発表

5月11日、コスタ・シルヴァ経済・海洋大臣はアソ

ーレス諸島に、新たに気象観測用のレーダーを設置する旨を発表した。コスタ・シルヴァ大臣は、「アソーレス諸島を海洋・大気研究のためのプラットフォームとしていきたい。アソーレス諸島はそうなるための理想的な条件を備えている」とサン・ミゲル島と、フローレス島に設置される気象レーダーを紹介した。同レーダーの設置には、復興・強靱化計画の資金援助を含む500万ユーロの投資がなされた。

### ★欧州委員会、ポルトガルの経済成長率を上方修正

5月15日、欧州委員会は、ポルトガルの経済成長率予想を上方修正した。欧州委員会の発表によると、ポルトガルの2023年度の経済成長率は2.4%となる見通しで、これまでの予想(1%)から1.4%の上方修正となる。また、2024年のポルトガルの経済成長率は1.8%になると予想されている。これらの数値は、欧州圏及びユーロ圏の2023年の成長予想(それぞれ1%、1.1%)を上回っている。欧州委員会によると、ポルトガルの今年の物価上昇率は鈍化する見込みであるが、依然として高い数値となる見込みである(5.1%)。

### ●2023年3月の貿易統計の発表

5月10日、国立統計院(INE)は2023年3月の貿易取引量の変化に関する数値を発表した。3月の貿易取引量は、前年同月と比較し、輸出が18.7%、輸入が9.3%増加し、同年の前月からはそれぞれ6.9%、7.1%となった。貿易赤字は前年同月と比べ3億8,800万ユーロ減少し、20億8,800万ユーロとなった。

### ●2023年第1四半期の失業率の発表

5月10日、国立統計院(INE)は、2023年第1四半期の失業率を発表した。同期間の失業率は7.2%となり、2022年第4四半期から0.7ポイント上昇した。また、前年同時期との比較では、1.3ポイントの増加となった。加えて、5月22日のポルトガル職業安定所(IEFP)の発表によると、2023年4

月時点で、国内全土で29万5,422人が失業者登録を行っており、前年同月と比較し0.7%の減少となった。失業者全体に対する若者の割合は10.8%となった。

### ●2023年4月の消費者物価指数の発表

5月11日、国立統計院(INE)は2023年4月の消費者物価指数を発表した。4月のCPIは前月を1.7%ポイント(p.p)下回る5.7%となる見込み。同数値は、ユーロ圏の平均値(5.8%)をわずかに下回る。インフレの指標となる食料品及びエネルギーを除いたコアCPIに関しても、前月から0.4%の微減となる見込み。エネルギー部門及び食料品単独ではそれぞれ前月比8.3%(p.p)増加5.2%(p.p)減少となった。

### ●ポルトで「ポルトガル・アンゴラ経済フォーラム」が開催

5月16日、ポルトでポルトガル・アンゴラ経済フォーラムが開催され、ゴメス・クラヴィーニョ外務大臣が参加した。クラヴィーニョ外相は、農業、再生可能エネルギー、医薬品、繊維などが重要分野であると例に挙げたうえで、「ポルトガルとアンゴラの経済関係は強固であるが、まだまだ拡大の可能性を秘めており、両国はこの道を共に歩むべきである。ポルトガル企業が今後数年のアンゴラ経済の見通しを知るよい機会となった」と述べた。クラヴィーニョ外相は、6月に、アントニオ・コスタ首相と共にアンゴラを訪問する予定である。

(了)